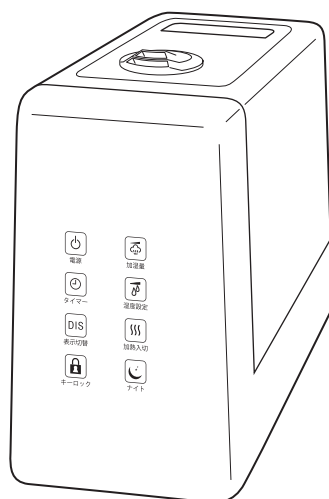


## 加熱超音波式加湿器

ASH-6044

## - 目次 -

安全上のご注意	1～3
各部のなまえ	4～5
特長	5
正しくお使いいただくために	6～7
知っておいていただきたいこと	7
正しい使いかた	8～13
抗菌カートリッジについて	14
排水のしかた（タンク内）	15
お手入れのしかた	16～18
保管のしかた	18
仕様	19
別売品について	19
故障かなと思ったら	20～21
アフターサービスについて	22



## 取扱説明書【保証書付】

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、加熱超音波式加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられたあとも、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

- \* ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- \* ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。



## 注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

## 絵表示と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

- \* お読みになられたあとは、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

## 警告



指示

●電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は拭き取る。ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。



禁止

●ミスト吹出口などから本機の内部にピンや金属棒などを入れない。ショート・感電の原因になります。



禁止

●交流 100V 以外では使用しない。火災・感電の原因になります。



指示

●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。ショート・感電・発火・発煙の原因になります。



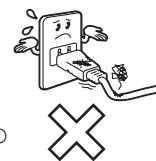
禁止

●本体を水につけない、水をかけない。水槽に直接水を入れない。ショート・感電の原因になります。水槽以外の本体内部に水が入ったときは、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてください。



禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。ショート・感電・発火の原因になります。



# 安全上のご注意 (つづき)

## 警告



禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。  
火災・感電の原因になります。



濡れ手禁止

●濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない。  
けが・感電の原因になります。



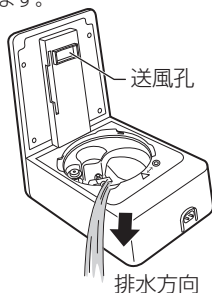
分解禁止

●改造・分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。  
けが・火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店または、裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



指示

●排水方向から排水する。  
排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



禁止

●子供や介護の必要な方だけでは使わない。  
けが・感電の原因になります。



禁止

●タンクや水槽部のお手入れに塩素系・酸性タイプの漂白剤や洗剤は使用しない。  
洗剤が残り、有毒ガスが発生したり、故障の原因になります。



禁止

●一般家庭の居室以外で使用しない。  
温室など高湿度の場所で連続使用すると、ショート・感電の原因になります。また、食品、動植物、楽器、美術品の保存などの特殊な用途に使用すると、これらの品物の品質低下の原因になることがあります。



プラグを抜く

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

●異常時（こげくさい臭いなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く。  
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因となります。運転を停止してお買い上げの販売店または、裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



禁止

●乳幼児が誤って電源プラグ・器具用プラグをなめないように注意する。  
感電・けがの原因になります。

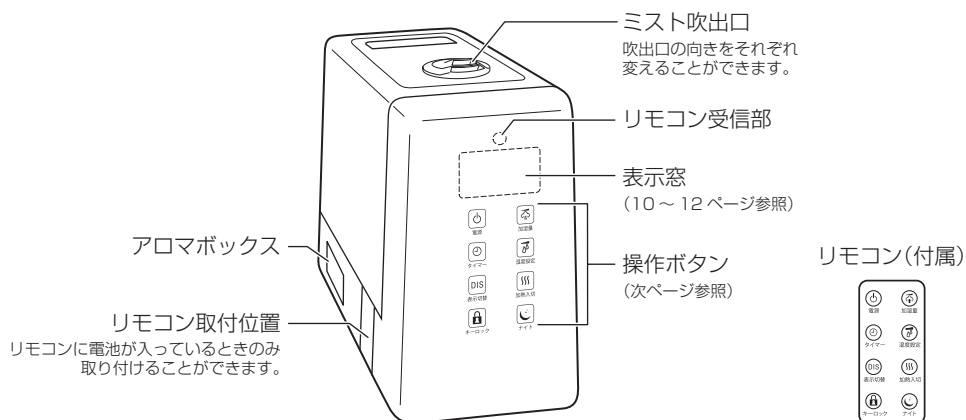
# 安全上のご注意 (つづき)

## ⚠ 注意

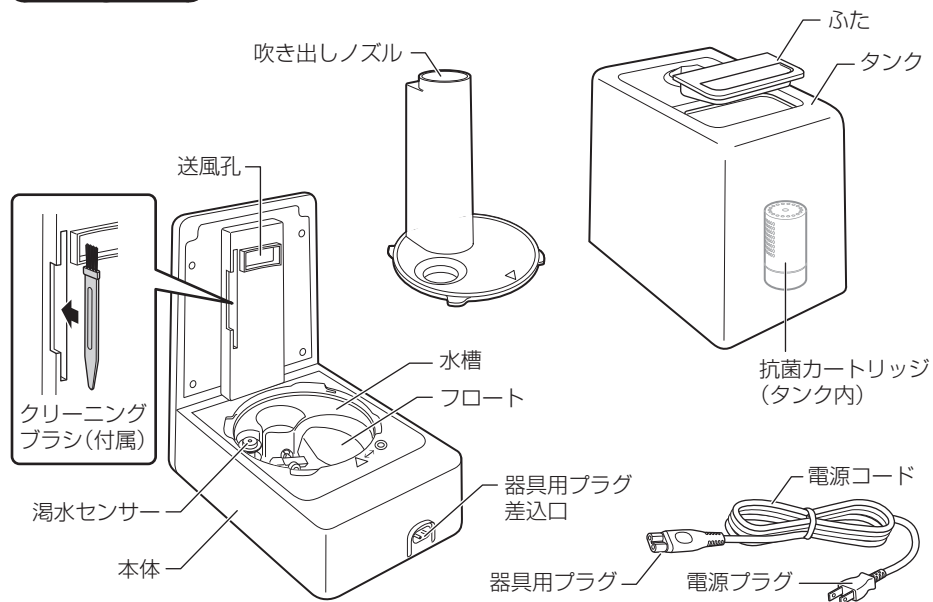
 指示	<p>●電源プラグを抜くときは電源コードをもたず<b>に必ず電源プラグをもって引き抜く</b>。 ショート・感電の原因になることがあります。</p>	 プラグを抜く	<p>●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。 けが・やけど、絶縁劣化による漏電火災・感電の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>●壁や家具、カーテンの近くでは<b>使わない</b>。 故障の原因になることがあります。また、ミストを家具やカーテンに直接当てると、シミや白い粉の付着などの原因になります。</p>	 禁止	<p>●吹き出しノズルやタンクを外した状態で<b>使用しない</b>。 水滴が飛び散り、けが・やけどの原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>●屋外や直射日光の当たる場所で<b>使用しない</b>。 故障の原因になることがあります。</p>	 禁止	<p>●水道水（飲用）以外は<b>使用しない</b>。 井戸水や湧き水などを使用すると、雑菌の繁殖や、不純物が本体内部やタンク・抗菌カートリッジに付着して、故障の原因になることがあります。</p>
 指示	<p>●タンクの水は常に新しい水道水（飲用）と入れ替え、本体内部を定期的に清掃する。 掃除せずに使用すると、汚れや水あかにより雑菌やカビが繁殖し、異臭の原因になります。また、体質によっては健康を損なう恐れがあります。その場合は、医師にご相談ください。</p>	 禁止	<p>●凍結したまま<b>使用しない</b>。 故障の原因になることがあります。凍結の恐れがあるときは、タンクの水を捨ててください。</p>
 禁止	<p>●抗菌カートリッジを外した状態で<b>使用しない</b>。 カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因になります。</p>	 禁止	<p>●アロマオイルやアロマウォーター、香水、お湯などをタンクや本体へ<b>入れない</b>。 故障や水漏れの原因になることがあります。</p>
 指示	<p>●移動するときは<b>運転を止め、タンク・水槽部の水を捨てる</b>。 水がこぼれて家財などを濡らしたり、水漏れの原因になります。</p>	 禁止	<p>●不安定な場所には<b>置かない</b>。 水がこぼれて床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因になります。</p>
 接触禁止	<p>●使用中はタンクに手を<b>触れない</b>。 誤動作して、故障や水漏れ、変形の原因になります。</p>	 禁止	<p>●タンクを落としたり、ぶつけたり<b>衝撃を与えない</b>。 タンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れの原因になります。</p>
 禁止	<p>●ミスト吹出口を<b>ふさがない</b>。 カーテンやタオルなどでミスト吹出口をふさぐと、異常過熱で変形や故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>●パソコンやテレビ、音響機器、精密機械（携帯電話など）の近くでは<b>使用しない</b>。 機器に水分や白い粉が付着して、故障の原因になります。</p>
 指示	<p>●周辺に、ミスト吹出口から出るミストを<b>さえぎるものや、湿気に弱いものがないことを確認する</b>。 床面を濡らす恐れがあります。</p>	 禁止	<p>●誤って倒れたり、誤った使いかたで水漏れをして濡れることがあります。</p>
 禁止	<p>●使用中は<b>本体を動かさない</b>。 水がこぼれて床を濡らしたり、送風孔から水が入り故障や水漏れの原因になります。</p>	 指示	<p>●エアコンや暖房器具の風が当たらない場所に<b>設置する</b>。 湿度センサーが誤動作する原因になります。</p>

# 各部のなまえ

## 前面・左側面

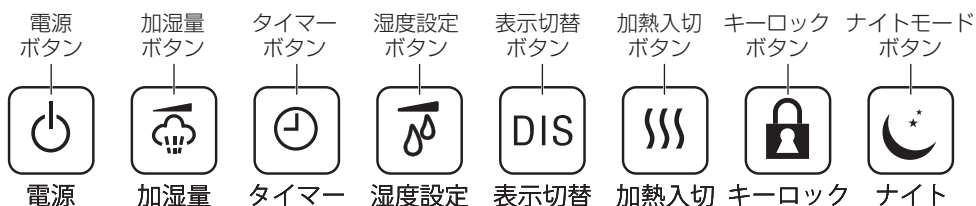


## 後面・本体内部



# 各部のなまえ（つづき）

## 操作ボタン



### 現在湿度の表示について

- 本機には湿度センサーが搭載されています。  
感知方式や構造（アナログ式）などの違いにより、市販品の湿度計と本機の現在湿度の表示は異なることがあります。（湿度表示は目安です。）  
また、空気の流れが良い場所と悪い場所では湿度表示が異なる場合があります。

### メモリー機能について

- 電源を切っても電源プラグをコンセントから抜かなければ、停止前の設定は記憶されています。（タイマーの設定はリセットされます。）

### 表示窓の「Err」について（湯水エラー）

- 運転中に水槽の水が少なくなると、表示窓に「Err」が点灯して、警告音が5回鳴り、電源がOFFになります。
- 表示窓に「Err」が点灯したときは、タンクに水が入っているか、タンクが本体に正しくセットされているかを確認してください。

## 特長

- 本製品は、「加熱式」と「超音波式」を組み合わせたハイブリッド式の加湿器です。

### 加熱式とは？

本体内部のヒーターで水が加熱されるので、ミストがより出やすくなります。  
また、水の中に含まれる菌の繁殖防止にもなります。

### 超音波式とは？

超音波振動子で水を細かく粉碎し、細かな霧状にして噴霧します。

- ※お好みで加熱（ヒーター）の入／切を切り替えてください。加熱単独での運転はできません。
- ※加熱された水が噴霧されますが、暖房器具のようにお部屋をあたためるものではありません。

# 正しくお使いいただくために

- タンクに水道水（飲用）以外は入れないでください。  
井戸水・湧き水・市販のミネラルウォーターなどを使用すると、雑菌の繁殖や不純物が本体内部やタンク・抗菌カートリッジに付着して、故障の原因になります。また、タンクにお湯やアロマオイル・アロマウォーター・香水・アルコール類などを入れると、タンクの変形や破損による水漏れや故障、異臭の原因になります。  
※加湿器用抗菌剤は、弊社推奨品をお使いください。お買い求めの際は裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。
- 次亜塩素酸系<sup>(※)</sup>の溶液は抗菌剤として使用しないでください。  
※次亜塩素酸ナトリウム溶液を抗菌剤として加湿器に使用した場合、健康を損なう恐れがあるので使用しないでください。
- タンクや水槽部のお手入れに、塩素系・酸性タイプの漂白剤や洗浄剤は使用しないでください。  
洗浄剤が残り、有毒ガスが発生する原因になります。また、ミストが発生しにくくなるなど、故障の原因になります。
- お手入れをせずにお使いになると、汚れや水あかにより雑菌やカビが繁殖し、異臭が発生したり、健康を損なう恐れがあります。また、加湿器性能の低下や故障の原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。「お手入れのしかた」（16～18ページ）を参照してください。

## 加湿器の設置場所

### 直射日光の当たる所

暖房器具の近くなど加湿器本体があたたまる所に置くと、

- ・変形の原因
- ・湿度センサーが誤作動する原因 になります。

エアコンや暖房器具の風が当たる所に置くと、

- ・湿度センサーが誤作動する原因 になります。

水平で安定した台の上で使用してください

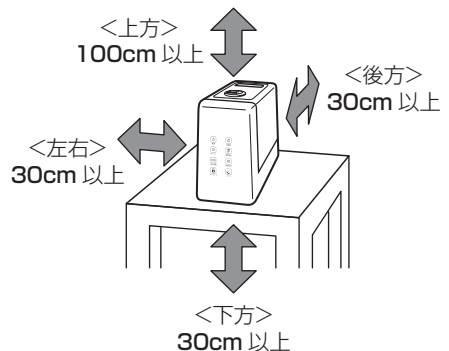
- ・床に直置きすると、本体周辺や床が濡れる原因
- ・転倒により水が漏れる原因 になります。

カーテンや壁・家具などの近くに置くと、

- ・シミ、変色、変形の原因
- ・「白い粉※」が付着する原因 になります。

パソコンやテレビなど電子機器の近くで使用すると、

- ・機器に水分や「白い粉※」が付着して故障する原因
- ・映像の乱れや雑音の原因 になります。



※本機を使用すると、水道水（飲用）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が白い粉となって、お部屋の床や壁、家電製品、家具などに付着する場合がありますが、有害なものではありません。付着したときは柔らかい布などで早めに拭き取ってください。

# 正しくお使いいただくために (つづき)

- 室内温度 18℃以上での使用をおすすめしています。低い室温で本製品を使用すると、ミストが蒸発しづらくなるため、室内が白く霧状になり、お部屋の床や壁、家電製品、家具などが湿ってしまう場合があります。お部屋の中をあたためた状態に保ってお使いください。
- 吹出口から噴霧されるミストが直接当たる場所に物を置かないでください。  
本製品をお使いになると、水道水（飲用）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が白い粉となってお部屋の床や壁、家電製品、家具などに付着する場合がありますが、有害なものではありません。白い粉が付着したときは柔らかい布などで早めに拭き取ってください。
- 湿度計の感知方式や構造（アナログ式）などの違いにより、市販品の湿度計と本機の現在湿度の表示が異なることがあります。また、同じ室内でも空気の流れが良い場所と悪い場所、床や畳などの低い場所と床から離れた場所などは湿度に差があるので、現在湿度の表示は異なります。エアコンや暖房器具の風が当たる所、ドア付近（※）なども避けてお使いください。  
※ ドアを開閉するので湿度が安定しません。
- ご使用環境<sup>(※)</sup>によっては、加湿量レベル [2] 以上で運転しているときに本体周辺などに水滴が付着して濡れることがあります。  
※ (例)
  - ・ 室内温度が低い状態
  - ・ 室内温度が高い状態
  - ・ 狭い場所や閉めきった場所
  - ・ 床や畳などの低い場所に直置きして使用した場合
  - ・ 冷たい壁や窓際で使用した場合
  - ・ 設定湿度が高い場合

# 知っておいていただきたいこと

- 本体周辺の湿度が高い場合、電源を入れた当初は現在湿度が高く表示される場合があります。本機は電源を入れてから湿度センサーが安定するまで、ご使用環境にもよりますが 10～15 分ほどかかる場合があります。時間の経過とともに湿度センサーが安定し、電源を入れた当初より現在湿度の表示が下がります。
- ガス器具の近くで本製品をお使いになると、炎の色（通常は青色）が赤みをおびることがあります。これは水道水（飲用）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が空气中で火と接触したときに発生する現象（炎色反応）で異常ではありません。
- お住まいの地域やマンションなどの水道水（飲用）の水質によっては、若干においがする場合があります。
- 本機は現在湿度が設定湿度以上になると、ミストの吹出しを自動的に停止し、待機状態になります。（湿度センサーを働かせるファンモーターは動作しているため、吹出口からの送風は続きます。）  
現在湿度が設定湿度より低くなったとき、ミストの吹出しを自動的に再開します。



# 正しい使いかた

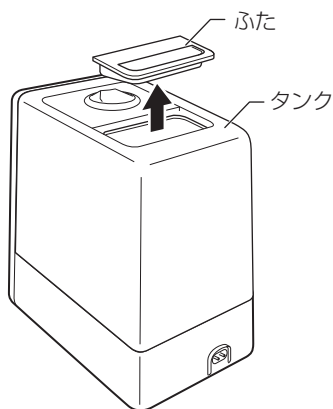
はじめてご使用になるときは、必ず「安全上のご注意」（1～3ページ）をお読みください。

- ※タンクに水道水（飲用）を入れ、ふたを締めて振り洗いを行ってから使用してください。
- ※底部キャップ裏側のパッキンが正しくセットされているか確認してください。
- 「お手入れのしかた」（17～18ページ）を参照してください。

## タンクに水道水（飲用）を入れる

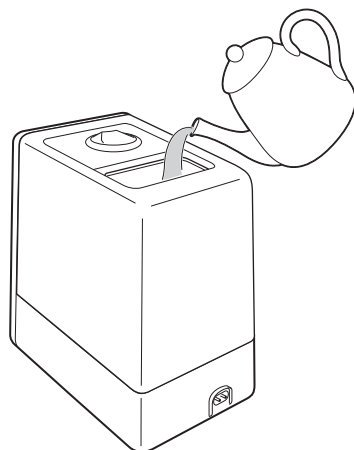
- ※水を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※タンクに給水する前に底部キャップが閉まっているか確認してください。
- ※タンクを持ち運んで給水すると、タンクの落下や漏水などの原因となり危険ですでおやめください。

### 1 ふたをタンクから取り外す



### 2 タンクに水道水（飲用）を入れ、ふたを元通りに取り付ける

タンクに水道水（飲用）を入れた後、ふたを本体に取り付けます。



### ご注意

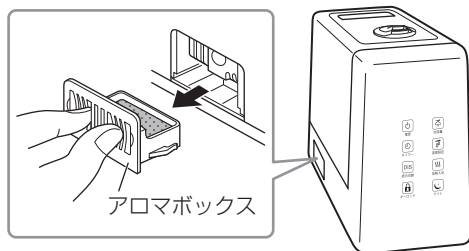
- ・ミスト吹出口から直接水を入れしないでください。水漏れや故障の原因になります。
- ・水道水（飲用）以外は使用しないでください。井戸水や湧き水、市販のミネラルウォーターなどを使用すると、雑菌の繁殖や不純物が本体内部やタンク・抗菌カートリッジに付着して、故障の原因になることがあります。
- ・底部キャップをしっかり取り付けてください。水漏れや漏水エラーの原因になります。

# 正しい使いかた (つづき)

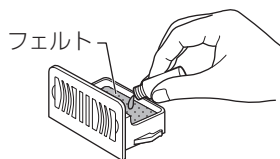
## アロマオイルを使用する

※本製品にアロマオイルは付属していません。市販のものを別途お買い求めください。

- 1** 電源が切れているのを確認し、本体側面のアロマボックスを取り外す



- 2** アロマボックス内のフェルトに、アロマオイルがこぼれないよう数滴染み込ませる



- 3** アロマボックスを本体に取り付ける

### ご注意

- ・タンクや水槽にはアロマオイルやアロマウォーターを絶対に入れないでください。破損などの原因となります。
- ・アロマオイルが本体に付着したらすぐに拭き取ってください。本体が破損する恐れがあります。
- ・アロマボックスにアロマオイルを入れるときは、必ずアロマボックスを本体から外してください。
- ・アロマオイルを入れすぎると、こぼれる場合があります。
- ・アロマオイルがアロマボックスの外側に付着した場合は必ず拭き取ってください。
- ・アロマオイルは必ずアロマボックス内のフェルトに染みこませてお使いください。

### アロマオイルについて

- アロマオイルは天然抽出物（100%）をお使いください。
- アロマオイルの取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- アロマオイルの使いすぎにご注意ください。気分が悪くなったときは、使用を中止してください。
- アロマオイルの香りによってアレルギー症状が出た場合は、使用を中止して、医師にご相談ください。
- 香水や合成香料などは入れないでください。

# 正しい使いかた (つづき)

## 電源を入れる

● 加湿器の設置場所 (6 ページ) を確認してください。

### 1 電源コードを本体の器具用プラグ差込口に接続した後、コンセントに電源プラグを差し込む

「ピーッ」と音がして、表示窓が約 1 秒間点灯します。

### 2 電源ボタンを押す

「ピーッ」と音がして、表示窓が点灯し、初期設定の状態ですべての機能がスタートします。(初期設定では、加湿量 [2]、湿度設定 60%、加熱 [入] になっています。)

※ 操作は本体操作ボタンまたはリモコンで行います。

※ 初めてのご使用时や水槽に水が入っていない場合は、タンクからの給水が間に合わずに漏水エラーになることがあります。その際は一度電源を切り、再度電源を入れてください。



電源

## いろいろな機能を使う

● 操作は本体操作ボタンまたはリモコンで行います。

### 加湿量 (ミスト量) を設定する



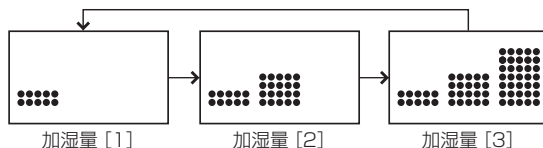
加湿量

※ 設定湿度が高い場合は、加湿量を [1] ~ [2] に設定してください。[3] の設定は加湿過多になり、床面が濡れることがあります。

加湿量ボタンを押します。

ボタンを押すたびに加湿量が [1] ~ [3] の範囲で切り替わります。[1] が最少、[3] が最多のミスト量です。

● 設定したい加湿量を選択し、表示が 3 回点滅すると、設定が確定されます。



# 正しい使いかた (つづき)

## 湿度 (目標湿度) を設定する



### 湿度設定

- ※ 市販品の湿度計の表示と異なることがあります。
- ※ 空気の流れが良い場所と悪い場所では、湿度が異なることがあります。

湿度設定ボタンを押します。

ボタンを押すたびに設定湿度が 10%単位で 40%～70%の範囲と、――% (連続モード) で切り替わります。

- 設定したい湿度を選択し、表示が3回点滅すると、設定が確定されます。

### ポイント

インフルエンザの予防として、特に乾燥しやすい室内では湿度を 50～60%に保つことも効果的とされています。(※厚生労働省 HP より抜粋)



- ※ 湿度を 50%に設定した場合、周囲の湿度が 50%より低いときはミストを発生し、50%に達するとミストの吹出しを自動的に停止します。(湿度センサーを動かせるファンモーターは動作しているため、吹出口からの送風は継続します。) 現在湿度が設定湿度より低くなったとき、ミストの吹出しを自動的に再開します。

## タイマーを設定する



### タイマー

- ※ タイマーの設定を取り消すには、タイマーボタンを押して――h (連続モード) に設定してください。(電源を切って取り消すこともできます。)

タイマーボタンを押します。

ボタンを押すたびに自動的に停止する時間が 1 時間単位で 1～12 時間の範囲と、――h (連続モード) に切り替わります。

- 設定したい時間を選択し、表示が3回点滅すると、設定が確定されます。タイマーの設定後は、残りの運転時間を表示します。



## 加熱されたミストを出す



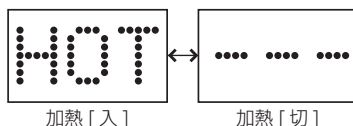
### 加熱入切

- ※ 加熱 [入] に設定すると本体内部のヒーターで水が加熱され、ミストがより出やすくなります。また、水の中に含まれる菌の繁殖防止にもなります。

加熱入切ボタンを押します。

ボタンを押すたびに入/切が切り替わります。

- 加熱の入/切を選択し、表示が3回点滅すると、設定が確定されます。



# 正しい使いかた (つづき)

## ナイトモードを使用する



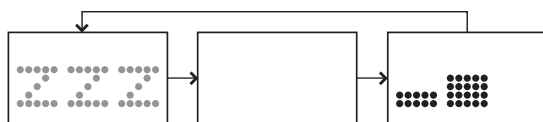
ナイト

※ ナイトモードを使用する際は、電源の切り忘れに十分ご注意ください。

ナイトモードボタンを押します。

ボタンを押すたびに表示が半灯、消灯、点灯（ナイトモード解除）に切り替わります。

- ナイトモードを選択すると、表示が半灯した後に3回点滅、または消灯して、設定が確定されます。
- ナイトモード中は、ナイトモードボタン以外のすべてのボタンがロックされます。他の操作をする際は、ナイトモードを解除してから行ってください。



ナイトモード(半灯) ナイトモード(消灯) ナイトモード解除(点灯)

※ 運転中の設定が表示されます。  
(例：加湿量[2])

## 表示窓の表示を切り替える

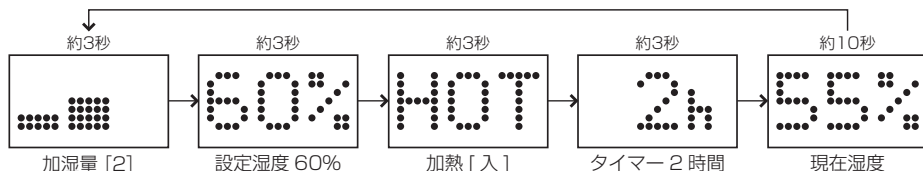


表示切替

表示切替ボタンを押します。現在の設定状態と、現在湿度を確認できます。

ボタンを押すたびに、下記いずれかの表示に切り替わります。

- ・ 加湿量のみを表示させる
- ・ 加湿量→設定湿度（設定時）→加熱 [入]（加熱 [入] 設定時）→タイマー設定時間（タイマー設定時）→現在湿度の順に、約3秒間隔で繰り返し表示させる（現在湿度のみ約 10 秒間表示）



## キーロックを設定する



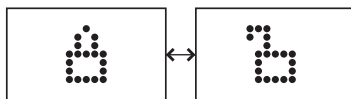
キーロック

※ リモコンのキーロックボタンは、押すたびに設定／解除が切り替わりますので、リモコンはお子様の手の届かない所に保管してください。

キーロックボタンを 3 秒長押しします。

鍵（閉錠）マークが表示され、すべてのボタンがロックされます。再度キーロックボタンを 3 秒長押しすると、鍵（開錠）マークが表示され、キーロックが解除されます。

- リモコンのキーロックボタンは、押すたびに設定／解除が切り替わります。



キーロック設定

キーロック解除

# 正しい使いかた (つづき)

## 運転を停止する

### 電源ボタンを押す

「ピーッ」と音がして、表示窓が消灯し、運転を停止します。

※長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※電源を切った後も、約3分間ファンは動作を継続するため、ファンモーターの動作音とミスト吹出口からの送風が続きますが、異常ではありません。

※電源を切った後、本体底部の残留水が高温のため、吹出口から湯気が出ることがありますが、異常ではありません。

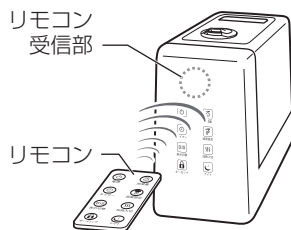


電源

## リモコンを使う

リモコンのボタンは、本体の操作ボタンと同様に使用できます。送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

- リモコンとリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。
- 付属の電池はお試用ですので、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
- リモコンは5メートル以内の距離で使用してください。



## 電池の入れかた

リモコンの動きが弱くなったときは、リチウム電池 (CR2032) を入れ替えてください。

・リモコンはお子様の手の届かない所に保管してください。



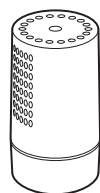
### ⚠ 警告

#### 電池についてのご注意

- ・電池に表示された警告・注意を必ず守ってください。
- ・液漏れが生じたときは、素手で触らないでください。液が目に入ったときは、直ちに水道水などのきれいな水で水洗いし、医師の治療を受けてください。手や衣服についたときも、すぐに水洗いしてください。
- ・飲み込み防止のため、電池を幼児の手の届かない所に置かないでください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ・火に入れたり、加熱しないでください。
- ・分解しないでください。
- ・「+」と「-」の向きを間違えないでください。
- ・水をかけたり、濡らさないでください。
- ・充電しないでください。
- ・廃棄するときは、テープなどで接点を絶縁してください。また、お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。
- ・指定以外の電池を使用しないでください。
- ・長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

# 抗菌カートリッジについて

- 抗菌カートリッジには銀イオン抗菌剤を使用しています。これはタンク内の水を抗菌するものです。<sup>※1</sup>  
人体や動植物には無害です。
- 抗菌剤の交換時期の目安は使用開始後2年です。<sup>※2</sup>  
汚れやにおいが気になる場合は、交換してください。  
新しい抗菌カートリッジのご注文は裏表紙に記載の「お客様サービス  
窓口・修理受付」までお問い合わせください。また、「別売品について」  
(19 ページ) を参照してください。



※1 JIS に基づく抗菌試験による。

※2 使用頻度により異なります。(1日8時間、年間6ヵ月使用した場合)

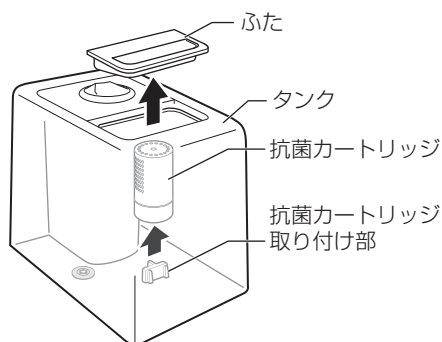
## 抗菌カートリッジの取り外しかた

※必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてから行ってください。

### タンクからふたを外し、タンク内 部にある抗菌カートリッジを取り 出す

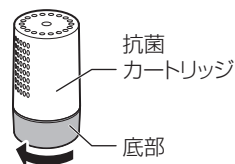
タンクを軽くおさえながら、抗菌カートリッジを真っ直ぐ引き抜きます。

- 取り付ける際は、抗菌カートリッジ取り付け部に抗菌カートリッジ底部の溝を合わせて差し込んでください。

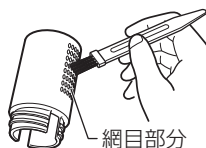


## 抗菌カートリッジのお手入れ

- 1 抗菌カートリッジの底部を矢印の方向へ回して  
抗菌カートリッジから取り外す



- 2 網目部分等を付属のクリーニングブラシでやさしく  
洗い、内部の汚れを水で振り洗います



# 排水のしかた（タンク内）

❗ 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてから行ってください。

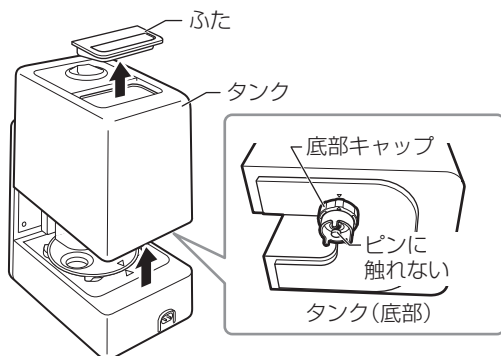
⊘ 電源コードの抜き差しは濡れた手で行わないでください。

- タンクの水は常に新しい水道水（飲用）と入れ替え、本体内部を定期的に清掃してください。
- 排水の際に、タンクを床に落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えないでください。タンクにヒビが入り水漏れの原因になります。

## 1 ふたを取り外し、タンクをまっすぐ上に持ち上げる

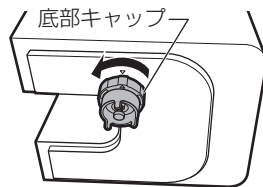
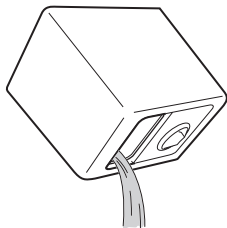
タンク底部に付着している水滴は、タオルなどで拭き取ってください。

- 底部キャップの中央のピンを押すと水が漏れるので触れないでください。



## 2 タンク内の水を排水する

- ① タンク上部の開ロ部から排水します。
- ② 底部キャップを回して取り外し、タンク底部のピンを軽く押し上げながらタンクを軽く振るようにしてタンク内の残った水をすべて排水します。



- 水を抜いた後は、底部キャップを取り付けてからタンク内に水を入れ、振り洗いをしてごみなどを排出してください。
- 底部キャップ裏側のパッキンが外れたり、ずれたりしていないことを確認してください。水漏れの原因になります。「お手入れのしかた」（17～18ページ）を参照してください。

## 3 底部キャップを取り付ける

- 底部キャップの締め付けがゆるかったり、傾いて締め付けられていると、水漏れすることがあります。

## 4 タンクを本体にセットして、ふたを取り付ける

タンクは垂直にゆっくり取り付けてください。



# お手入れのしかた

**!** 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を冷ましてから行ってください。

## 本体

重曹を入れた水に布を浸し、固めに絞って、本体の汚れを拭き取ってください。

- 本体の水洗いは絶対にしないでください。
- シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。変色や傷の原因になります。

## アロマボックス

フェルトを取り出し、中性洗剤などでよく洗い、やわらかい布で拭き取ります。残り香が気になるときは何回か繰り返してください。

## 水槽

2、3日に1回を目安に、水槽内の水を捨て、濡れた布などで汚れを拭き取ってください。

- 送風孔から水が入らないよう、必ず排水方向から排水してください。
- 水槽に直接水を入れないでください。
- 洗剤は使用しないでください。故障の原因になります。
- 赤カビが発生した場合は、重曹水をスプレーボトルに入れ、付着箇所に吹きかけ、水で濡らした布でよく拭き取ってください。  
(重曹水:ぬるま湯 250ml に対し、重曹大さじ 2 杯をよくかき混ぜたもの)
- 排水時は器具用プラグ差込口やアロマボックスに水がかからないようご注意ください。
- 振動子は付属のクリーニングブラシで定期的にお手入れしてください。振動子に汚れが付着するとミストが出にくくなります。
- 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのタワシやみがき粉などで絶対にこすらないでください。変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因になります。

## フロート

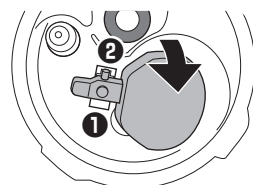
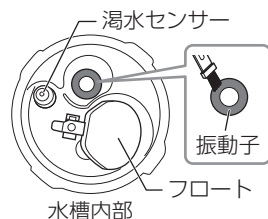
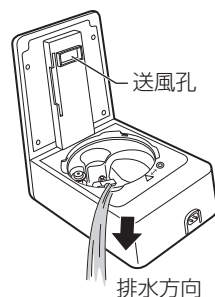
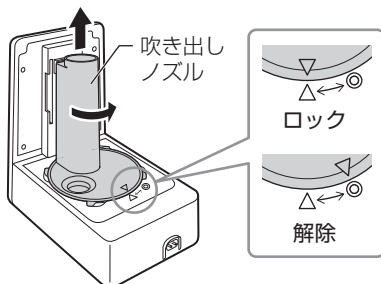
水槽内部のフロートを取り外し、水洗いして乾燥させてください。

右図の①側を支点にし、②側をこじるように持ち上げて取り外す

取り付ける際は、①側のツメを先に差し込んでから、②側を溝に押し込んでください。

## 吹き出しノズル

2、3日に1回を目安に本体から取り外し、水洗いして乾燥させてください。



# お手入れのしかた (つづき)

## ミスト吹出口・タンク内

タンクの水は常に新しい水道水（飲用）と入れ替えてください。タンクに水道水（飲用）を入れ、底部キャップを締めて振り洗いしてください。水道水（飲用）の水質が硬い場合、ミスト吹出口にスケール（水中のカルシウムやマグネシウムが析出した白いもの）が溜まりやすくなります。2、3日に1回を目安に水洗いし、よく乾燥させてください。

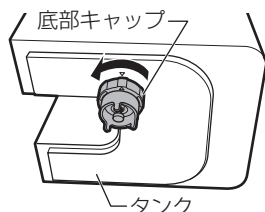


- 洗剤やシンナー・ベンジン・みがき粉などは使用しないでください。故障の原因になります。
- お手入れせずに使用すると、汚れや水あかにより、赤カビの発生や異臭の原因になります。
- タンク内のパッキンにゴミや異物が詰まっていないか確認してください。水漏れの原因になります。

## 底部キャップ

※底部キャップはタンクの底部にあります。

### 1 底部キャップを矢印の方向へ回して取り外す



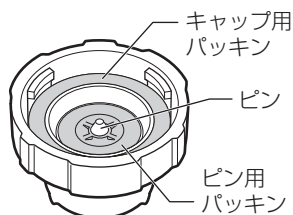
### 2 底部キャップ裏側からピン用パッキン・キャップ用パッキンを取り外し、各部を付属のクリーニングブラシでやさしく洗い、内部の汚れを水で洗い流す

- キャップ用パッキンはつまようじなどを使用して取り外してください。
- ピン用パッキンは、ピンを底部キャップの表側から押し上げながら取り外してください。

### 3 お手入れ後、底部キャップ裏側のパッキン（ピン用・キャップ用）を正しくセットする

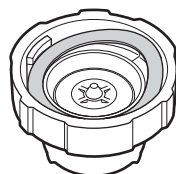
正しくセットされていないと、水が過剰に水槽に流れて水漏れや濁水エラーなどの原因になります。

#### 良い例

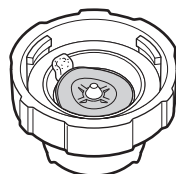


- ピン用パッキンをピンにはめ込みます（取り付けかたは次ページ参照）。
- ピン用パッキンやキャップ用パッキンと底部キャップの間に隙間がないことを確認してください。

#### 悪い例



キャップ用パッキンが外れている



ピン用パッキンに異物が挟まっている

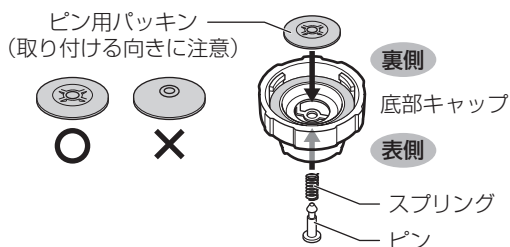
# お手入れのしかた (つづき)

## ピン用パッキンの取り付けかた

①ピンにスプリングをつけた状態で、底部キャップの表側から差し込みます。

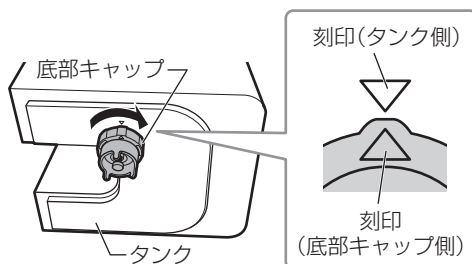
②ピンを底部キャップの表側から押し上げながら、底部キャップの裏側からピン用パッキンを取り付けます。

※ピン用パッキンは取り付ける向きにご注意ください。



## 4 底部キャップをタンクに取り付ける

底部キャップ側の刻印とタンク側の刻印が合うまでしっかりと締め付けます。

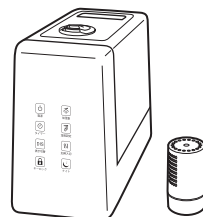


# 保管のしかた

## ⚠ 注意

●お手入れして、水分をよく乾燥させてから保管する。  
汚れや水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビなどが発生する原因になります。

- タンクと水槽部の水を排水して、陰干しでよく乾燥させてください。
- 抗菌カートリッジは保管する前に約 1 週間程、自然乾燥させてください。
- 取扱説明書と一緒に買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、高温・多湿の場所を避け、立てて保管してください。また、上に重いものを置かないでください。



# 仕様

電 源	AC100V 50/60Hz			
消 費 電 力	110W（超音波：30W / 加熱ヒーター：80W）			
加湿量	加熱入切ボタン[入]	レベル [3] 500mℓ /h	レベル [2] 350mℓ /h	レベル [1] 200mℓ /h
	加熱入切ボタン[切]	レベル [3] 320mℓ /h	レベル [2] 200mℓ /h	レベル [1] 100mℓ /h
外形寸法	約 198（幅）× 290（奥行）× 330（高さ）mm			
質 量	約 2.6kg			
タンク容量	約 6ℓ（抗菌カートリッジ付）			
コ ー ド	約 1.4m			
付 属 品	リモコン、アロマ用フェルト 3 枚（1 枚は本体装着済み）、 クリーニングブラシ、交換用抗菌カートリッジ			
生 産 国	中国製			
適用床面積目安	木造和室 14m <sup>2</sup> （8.5 畳） / プレハブ洋室 23m <sup>2</sup> （14 畳）			

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

## 別売品について

別売品のお求めは、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。

別売品は弊社ホームページ（二次元コード）でもお買い求めいただけます。

- ・掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。）
- ・お使いのスマートフォン等により、正しく表示されない場合があります。



名称	価格（税抜）
タンク（ふた付き）	1,500 円
抗菌カートリッジ	1,000 円
底部キャップ	500 円
アロマボックス（フェルト付き）	500 円
リモコン	1,000 円
電源コード	1,000 円
吹き出しノズル	1,000 円

- 上記価格は税抜価格です。別途消費税がかかります。また、別途送料・代金引換手数料がかかります。

# 故障かなと思ったら

こんなときは？	確認してください！！
電源を入れても動かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグや器具用プラグが抜けていませんか？ ➔電源プラグをコンセントに、器具用プラグを本体の器具用プラグ差込口にしっかり差し込んでください。</li> <li>●表示窓に「Err」が点灯していませんか？ ➔濁水エラーです。タンクに水道水（飲用）を入れてください。</li> </ul>
電源が入っているが、操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ナイトモードまたはキーロックが設定されていませんか？ ➔ナイトモードまたはキーロックを解除してください。 「ナイトモードを使用する」（12 ページ）、または「キーロックを設定する」（12 ページ）を参照してください。</li> </ul>
電源を切ってもモーター音や送風がしばらく続く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源を切った後も、約 3 分間ファンは動作を継続するため、ファンモーターの動作音とミスト吹出口からの送風は続きますが、異常ではありません。</li> </ul>
電源を切った後、湯気が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源を切った後、本体底部の残留水が高温のため、吹出口から湯気が出ることがありますが、異常ではありません。</li> </ul>
ミストが出てこない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設定湿度が現在の湿度より低くなっていませんか？ ➔本機は設定湿度以上になるとミストの吹出しを自動的に停止し、待機状態になります。（湿度センサーを働かせるファンモーターは動作しているため、吹出口からの送風は継続します。）現在湿度が設定湿度より低くなったとき、ミストの吹出しを自動的に再開します。</li> <li>●振動子に汚れが付着していませんか？ ➔「お手入れのしかた」（16 ページ）を参照してください。</li> </ul>
警告音が鳴って、運転が停止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タンクを正しくセットしていますか？ ➔正しくセットしてください。</li> <li>●タンクの水が少なくなっていますか？ ➔水道水（飲用）を補給してください。 「表示窓の「Err」について」（5 ページ）を参照してください。</li> </ul>
電源を入れると異常音がする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファンモーターの異常音が考えられます。 ➔裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。</li> </ul>
タンクと本体の間、または本体底部から水が漏れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吹き出しノズルを取り付けていますか？ ➔吹き出しノズルをきちんと取り付けてください。</li> <li>●タンクにヒビが入っていませんか？ ➔タンクを床に落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えると、ヒビが入り水漏れの原因になります。</li> <li>●底部キャップの締め付けがゆるかったり、傾いて取り付けられていませんか？ ➔底部キャップとキャップ用パッキンを正確にしっかりと取り付けてください。「お手入れのしかた」（17～18 ページ）を参照してください。</li> <li>●底部キャップ裏側のピン用パッキンが外れていたり、異物が挟まっていますか？ ➔ピン用パッキンを正しくセットしてください。「お手入れのしかた」（17～18 ページ）を参照してください。</li> </ul>

# 故障かなと思ったら（つづき）

こんなときは？	確認してください！！
本体周辺や床が濡れる。 (水が溜まる)	<ul style="list-style-type: none"><li>●加湿量が [3] になっていませんか？ ➔設定湿度が高い場合は、加湿量を [1] ～ [2] に設定してください。 また、床や低い位置で使用すると濡れやすくなります。</li><li>●室内温度が低くなっていませんか？ ➔低い室温で使用すると、ミストが蒸発しづらくなります。室温 18℃以上での使用をおすすめします。</li></ul>
市販品の湿度計と加湿器の現在湿度の表示が違う。	<ul style="list-style-type: none"><li>●本機に搭載している湿度センサーと市販品の湿度計では、感知方式や構造（アナログ式）などの違いにより異なることがあります。（湿度表示は目安です。）また、空気の流れが良い場所と悪い場所では湿度表示が異なる場合があります。</li></ul>
白い粉が周りに付く。	<ul style="list-style-type: none"><li>●白い粉は水道水（飲用）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分で有害なものではありません。付着したときは柔らかい布などで早めに拭き取ってください。</li></ul>

- 以上のことを調べていただき、なお異常のあるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

- ・ 保証書は、本書の裏面に添付されています。（※本書から切り離さないでください。）
- ・ 保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」と「販売店」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ・ 保証期間はお買い上げ日より1年間です。


## 2. 修理を依頼されるとき

- ・ 保証期間内  
商品に本書(保証書)を添えて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。保証の記載内容により、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間が過ぎている  
お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

## 3. 補修用性能部品の保有期間

- ・ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 「加熱超音波式加湿器」の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

## 4. 長年愛用された製品の点検（★長年ご使用の加熱超音波式加湿器の点検を！）

愛情点検	ご使用の際に、この様な症状がありませんか？	
	<ul style="list-style-type: none"><li>●プラグや電源コードが異常に熱い。</li><li>●電源コードに深いキズや変形がある。</li><li>●コゲくさい臭いがする。</li><li>●その他の異常、故障がある。</li></ul>	<p>一つでも該当する場合には→</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切ってプラグをコンセントから抜き、必ず販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。</p>

以上、アフターサービスについてのご不明点がございましたら、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。

### 個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は、当社個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

#### <利用目的>

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談/お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のためにアルファミックス・コイズミ株式会社および関係会社で上記の個人情報を利用することがあります。

#### <業務委託の場合>

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに、適切な管理/監督をいたします。

## 【保証・無料修理規定】

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
  - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 出張修理は行っておりません。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
8. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。

## 加熱超音波式加湿器 ASH-6044 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。  
お買い上げの日から、下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

品名／型番	加熱超音波式加湿器 / ASH-6044		
お買い上げ年月日 *	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様様	お名前 *		
	ご住所 *		
	TEL ( )		
	* 販売店		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店の皆様へお願い

必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

### お客様サービス窓口・修理受付

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

【お客様サービス窓口】 ☎ **048-718-3336** 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190

電話受付時間：平日9:00～17:00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

※修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」に事前にご連絡ください。

※弊社への直接の返品はお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。返品につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

アルファックス・コイズミ株式会社

<https://www.alphax.jp/>